

名家連ニュース

令和5年6月6日(火)
 発行：特定非営利活動法人
 名古屋市精神障害者家族会連合会
 会長 池山 豊子
 TEL/FAX(052)846-5576 NO. 号

青木聖久氏(日本福祉大学教授・全福連理事)の情報提供です

拝啓 精神科病床のことをはじめ、精神医療について研究を続けておられる、氏家憲章さんから、病床利用率の実態について資料をいただきました。氏家さんより、拡散 OK と言っていたいております。お知り合いにも転送ください。よろしくお願ひします。

名家連事務局：氏家氏に紙面の関係で再編集・挿絵挿入をご承諾頂き連載で掲載します。



今年中にも70%台突入が濃厚
2023年2月の病床利用率80.6%



◆ 入院中心の医療体制の“崩壊の危機”が鮮明 ◆

< 47都道府県別の病床利用率 > 出典：「病院報告」2023年2月現在

病床利用率	都道府県数		都道府県の実態
90%台	0		
80%台	24都道府県 (51%)	後半(85～89%) 4(17%)	富山86.1% 香川86.1% 群馬85.5% 岐阜85.9%
		前半(80～84%) 20(83%)	北海道80.4% 秋田83.8% 山形82.9% 埼玉82.4% 東京82.1% 神奈川80.5% 新潟82.8% 石川81.9% 愛知82.9% 三重82.2% 広島84.0% 山口81.5% 徳島83.2% 福岡82.9% 佐賀83.2% 熊本81.0% 大分84.2% 宮崎82.4% 鹿児島84.4% 沖縄80.7%
70%台	21府県 (45%)	後半18(86%)	青森79.0% 宮城77.9% 栃木78.0% 千葉77.2% 福井76.2% 山梨79.3% 長野77.8% 静岡77.5% 滋賀76.8% 京都75.3% 大阪79.5% 奈良79.0% 兵庫78.0% 鳥取77.3% 島根78.3% 愛媛75.0% 高知78.7% 長崎78.1%
		前半 3(14%)	岩手73.4% 茨城74.0% 岡山74.6%
60%台	2県(4%)		福島68.5% 和歌山68.1%

病床利用率の低下は今がピーク(どん底)ではない・今後も進む

次ページに続きます

❖ 80.6%のブロック別の病床利用率 ❖

	80%台	70%台以下
北海道	100%	0%
東北6県	23%	77%
関東7都県	43%	57%
甲信越3県	67%	33%
東海北陸7県	71%	29%
近畿6府県	0%	100%
山陰山陽5県	40%	60%
四国4県	50%	50%
九州沖縄8県	88%	12%



2021年12月82.9%⇒2022年12月80.3%(-2.6%)



❖ 在院患者ピーク時から約9万人減少 ❖

定床も在院患者も後半は前半の3倍の減少

< 定床と在院患者数のピーク時からの推移 > 出典:厚生労働省「病院報告」

	定床	在院患者数
ピーク	36万2千床(1993年)	34万9千人(1991年)
2006年	35万2千床	32万1千人
2022年12月	32万1千床	26万人
減少数	4万1千床	8万9千人

❖ 2022年12月全国の空病床は6万1千床 ❖

北海道の病床数1万9千床+東北6県の病床数2万7千床
+四国4県の病床数1万4千床=約6万床となっています。

つまり、北海道・東北6県・四国4県の全精神科病院の精神科
病床数、患者数が“ゼロ”に匹敵する規模の病床数が「空病床」
となっているのです。



次号は「在院患者の減少に伴う医療費削減」「政策転換」について掲載します